

IV 基本方針

1. 3つの基本方針

基本方針は目指すゴール（笑顔）に最短距離で辿りつくための行動指針です。札幌市は、3つの基本方針でシティプロモートを進めます。

1. 魅力を再発見する

「行きたいまち」から「住みたいまち」へ

「札幌で暮らしたい」と多くの市民が思っていることが、札幌市最大の魅力です。シティプロモートで伝えたいのは、市民が生活の中で実践し、文化やライフスタイルとして定着している本物の魅力です。札幌の市民、企業、研究者、行政がそれぞれ自分達の街の魅力を知ることがシティプロモートの第一歩と考えます。

行動指針

1. 生活を楽しむ札幌人のライフスタイルに根差した、住んで楽しい札幌をPRすることで、市民が楽しむ多様性を発信し、従来のイメージとのギャップを解消していきます。また、都会の利便性と豊かな自然が融合したストレスの少ない暮らしを発信します。
2. 札幌がすでに持っている魅力を守り、歴史を未来に伝えることでまちに誇りを持ちます。また、自分達のまちを理解し、シビックプライド^{※16}を醸成する教育や広報を進めます。
3. 豊かな自然と利便性の高い都会という都市ブランドを定着させ、世界に発信します。エコライフの定着や環境産業振興を通じて、環境首都としてふさわしい都市ブランドを発信していきます。

2. 魅力を味わい発信する

「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ

魅力を伝えていくには、それを知っていて、かつそれを楽しみ、好きである必要があります。札幌市民や世界の人々が、札幌の魅力を楽しみ、そこから生まれる喜びや感動をシティプロモートでは伝えていきます。

行動指針

1. 道産品の消費、道内観光など道内経済循環や道内交流人口を高め道内経済活性化をはかっていきます。そして、札幌がメディアとなり、北海道のショーケースとして、札幌の魅力を支える、北海道の魅力を発信して、道内他都市との協調を進めます。
2. 道内、国内において、都市間競争による奪い合いではなく、都市間協力による助け合いでもに生き残りを図ります。また、グローバルな都市間連携やネットワークづくりを推進します。
3. 市民がまちの魅力を再発見、創出し、市民によるおもてなし力の強化と市民による魅力発信を進めます。

3. 魅力を創造する

「新たな挑戦を支援するまち」へ

札幌の魅力は居住や余暇、レクリエーションで消費されるだけでなく、仕事や産業等の創造的な活動に取り組み、活かすことで、そのポテンシャルが高まり、人が集まり、新たな魅力が生まれていく街になるはずです。シティプロモートでは、札幌の魅力を活用した多様で創造的なアイデアを生みだしていきます。

行動指針

1. 新興市場に向けた外貨獲得の取り組みや波及効果の大きな産業への投資によって国際競争力を高めていきます。
2. 雪、食、音楽、映画、スポーツ、健康など、札幌のライフスタイルから生まれる魅力産業の創造を産学官民の連携により推進します。
3. これからの札幌を支えるアイデアやホスピタリティあふれる人づくりを支援します。寛容で創造性の高い人材が集まり、仕事も生活も楽しめるまちづくりを進めます。

「魅力資源」と「魅力産業」

これまでのシティプロモートでは、観光客に向けて観光資源を発信する傾向がありました。

札幌市のシティプロモートは、市民に愛され、楽しまれる魅力こそがまちの誇りになるとともに、市民が自信を持って札幌の魅力を発信していくことで、はじめて感動や感情が伝わり世界の都市と多様な関係をつくりだしていくことができると考えます。

このため、札幌市のシティプロモートでは、市民が楽しみ、市民のライフスタイルから生み出される魅力を「魅力資源」と設定して、「魅力資源」をつくりだす産業を「魅力産業」と定義します。

